

平成 30 年度

事業計画

宮崎県機械技術センター

公益財団法人 宮崎県機械技術振興協会

〒882-0024 延岡市大武町 39-82

TEL (0982) 23-1100

FAX (0982) 23-1104

URL <http://www.mmtc.or.jp/>

E-mail info@mttc.or.jp

1 基本方針

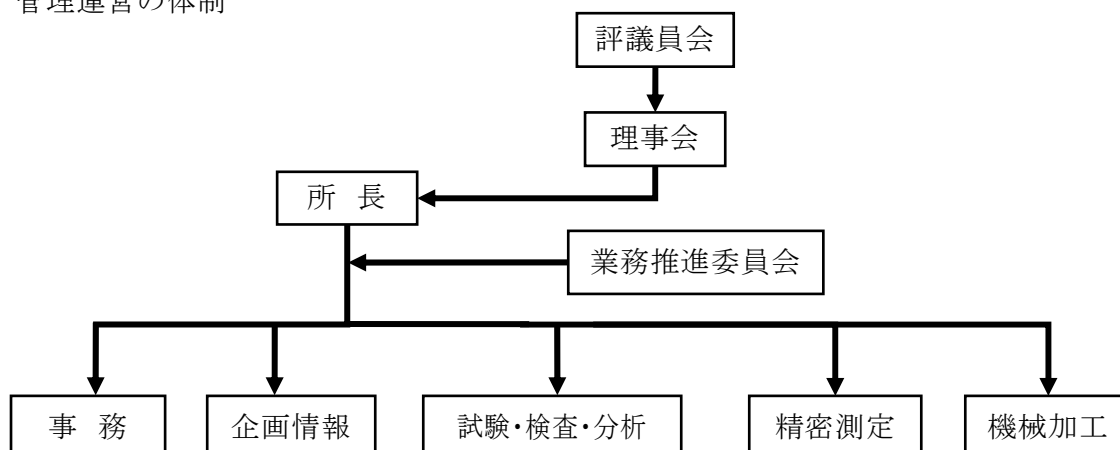
公益財団法人宮崎県機械技術振興協会は、機械金属工業の技術指導、調査研究等を行うことにより、本県機械金属工業の振興を図り、もって本県経済の活性化と地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、次の事業を行う。

- (1) 機械金属工業の技術指導及び調査研究
- (2) 機械金属工業に関する情報及び資料の収集
- (3) 公設工業支援施設の管理運営
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

平成30年度は、第3期指定管理期間の5年度目として宮崎県機械技術センター（以下「センター」という。）の管理運営を行う。また、企業の意見や要望を積極的に取り入れ、関係機関との緊密な連携を図りながら、時代ニーズにあった事業を実施して、地域の「ものづくり」技術の向上を図る。さらに、昨年度に引き続いて、最新の分析機器導入による化学分析体制の整備や、各種補助金等の獲得に向けたコーディネート業務の推進に取り組んで行く。

2 事業計画

(1) 管理運営の体制



(2) 職員構成 (平成30年4月1日現在)

・ 所長		1名	
・ 事務局長		1名	
・ 協会職員	(技術)	1名	
・ 県派遣職員	(技術)	1名	
・ 有期雇用職員	(技術)	2名	
・ 有期雇用職員	(事務)	1名	合計7名

(3) 事業の概要

ア 機械設備の利用に関する業務

センターに設置されている機械設備の利用について、受付、操作指導、料金の徴収を行うとともに、設置機器の保守点検等の業務を行う。

機械設備の利用は、平日昼間だけでなく、夜間・休日等の時間外利用にも対応する。

- ・利用件数：450 件
- ・主な設備：CNC三次元測定機、NCワイヤーカット放電加工機、輪郭形状測定機、ラピッドプロトタイピング装置、蛍光X線分析装置、赤外顕微鏡付きFT-IRなど

イ 機械金属工業に係る知識及び技術の習得に関する業務

① 技術相談

企業から持ち込まれる技術的課題の解決に向けた支援を行う。また、化学分析体制の確立を推し進め、様々な分野の企業からの技術相談に応えられるセンターを目指す。

- ・実施件数：330 件
- ・実施時期：企業からの相談希望に基づき随時実施

② 技術指導

センターに設置されている機械設備の利用に際して、企業技術者に機器の基本的な操作方法等の技術的指導を行う。技術指導には、初めて設備を利用する技術者向けと、繰り返し利用する技術者向けにより高度な操作法を指導する場合の2種類がある。また、必要に応じて職員を企業に派遣し、製造現場で機器操作に関する指導等を行う。

- ・実施件数：200 件
- ・実施時期：企業からの指導希望に基づき随時実施

③ センター機械設備の取扱研修

センターに設置されている機械設備の測定原理、装置の構造、操作方法等に関して研修を実施する。

研修の内容及び期間については、企業ニーズ等を踏まえて設定することとし、受講者と協議して研修プログラムを作成する。

- ・実施件数：8 回、年間受講者 20 人
- ・実施時期：企業からの受講希望に基づき随時実施

研 修 例	実施時期
CNC 三次元測定機操作技術研修	随 時
スモールツール操作技術研修	
NC 精密加工装置技術研修	
三次元 CAD・CAM・CAE システム研修	
熱流体解析技術研修	
赤外分光分析技術研修	
電子顕微鏡操作技術研修	
硬さ試験機とその前処理技術研修	

④ 技術講習会

企業の技術者の機械金属工業に関する更なる技術向上と知識の習得を図るため、外部講師等を招いた講習会を開催する。講習会の内容は、日常の事業活動の中で広く企業の要望を聞き、また注目される最新技術を見出した上で設定する。

- ・開催回数：5回、年間受講者100人

講習会名	実施時期
微小異物の分析評価技術講習会	第1四半期
品質トラブル解決に関する講習会	第2四半期
CAEを利用した機械部品の強度解析に関する講習会	第3四半期
機械金属部材の加工技術関連講習会	第3四半期
最新の精密測定技術関連講習会	第4四半期

⑤ 専門家等派遣による現場指導又は技術伝承に関する業務

企業が抱える技術的課題や人材育成に対し、専門家又は熟練技能者による現場指導あるいは技術伝承によって、技術力向上や技術者の育成を支援するための事業を実施する。

- ・実施件数：3回
- ・実施時期：企業等からの派遣希望に基づき随時実施

⑥ ものづくりに係る品質向上の指導に関する業務

工作機械等の加工精度の向上を図るため、企業からの要請に基づいて検査装置を企業の現場に持ち込み、機械の精度検査や調整の指導を行う。また、加工した製品の検査に用いる各種ゲージや精密測定具の精度確認、校正方法を指導する。

- ・実施件数：5件
- ・実施時期：4月～3月

⑦ 試験研究又は共同研究

機械金属関連企業の技術力向上を図るために、共同研究を行う。企業から共同研究の要請がない場合は、センター単独で下記の試験研究テーマを実施予定。得られた研究成果は、必要に応じ技術情報誌等により企業へ広く提供する。

- ・テーマ：コンピュータシミュレーションによる流体解析や材料の構造解析に関する研究
- ・概要：コンピュータシミュレーションにより、化学工場プラントの配管の強度や管内の液体の流れを最適化する技術を開発し、実証試験を行う。
- ・実施件数：1件
- ・実施時期：4月～3月

⑧ 先進地技術調査及び新技術導入のための派遣研修

先進地調査、工業技術展、機械金属学会等に参加し、最新の技術動向等に関する情報の収集を行う。得られた成果は技術講習会や企業巡回訪問等を通じて企業へ提供する。

- ・実施件数：先進地技術調査 4回、新技術導入研修 4回
- ・実施時期：4月～3月

⑨ 工業技術センターとの連携に関する業務

企業が抱える技術的な課題を効率的かつ効果的に解決していくため、随時宮崎県工業技術センターと連携する。また、同センターの研究成果の普及の協力を行う。

- ・実施時期：企業からの相談・依頼に基づき随時実施

⑩ 研究会運営の支援

県内中小企業が抱える生産性向上、人材育成、販路開拓等の課題を改善するため、延岡鉄工団地内企業の若手経営者による研究会（チーム延岡OX）等、各種研究会の運営を支援する。

⑪ ものづくりセミナーの開催

ものづくり意識の高揚や技術力向上を図るために、延岡鉄工団地協同組合等関係機関と連携して、製造業の経営者や技術者を対象としたセミナーを開催する。

- ・開催回数：1回
- ・開催時期：11月

⑫ 補助金等の獲得に向けたコーディネート業務の推進

企業や支援機関との連携強化を図り、国・県・市等の各種補助（公募）事業の獲得を目指す企業を支援する。また、これらの補助金を活用した共同研究の支援に努めるなど、コーディネート機能の役割を担う。

ウ 材料試験及び検査測定に関する業務

企業等からの依頼により、種々の金属材料、コンクリート、合成樹脂等の材料強度等の検査測定を行い、試験成績書を交付する。

- ・依頼試験試料数：425試料
- ・主な試験内容：引張試験、曲げ試験、コンクリート圧縮試験、硬さ試験、顕微鏡試験

エ その他

① 機械技術センター業務の公開・周知

ホームページや技術情報誌、メールマガジン等によりセンター業務の情報公開・発信を行う。また、見学希望者には積極的にセンターを公開して業務の周知を図る。

- ・ホームページ更新 3回
- ・技術情報誌発行 1回
- ・メールマガジンの発行 6回

② 企業巡回訪問

企業が抱える課題やニーズを把握するとともに、センター業務を広く周知していくため、職員による企業巡回訪問を実施する。訪問の際明らかになった個々の企業の抱える技術的課題には、関係機関と連携して、速やかな解決を図る。

- ・実施件数：年間訪問企業 延べ65企業

- ・実施時期：4月～3月

③ 利用者満足度調査

センターの管理運営業務の改善の参考とするため、センター利用者を対象とした満足度調査を実施する。調査結果及び評価・分析した内容は、速やかに県に報告するとともに、できるだけ管理運営の改善に反映させる。

- ・実施回数：1回
- ・実施時期：12月

④ 業務推進委員会

今後のセンターの方向性やあり方等の指針とするため、業務推進委員から意見を聴取する。その結果をもとに、センター運営の充実や改善を図る。

- ・開催回数：1回
- ・開催時期：1月

オ 機械技術センター連携促進事業

関係機関の連携をより一層促進し、県北地区におけるものづくり技術の高度化とのセンターの利活用促進を図るため、次の事業を実施する。

- ① 宮崎大学等との共催による、マッチングのための「ラウンドテーブルセミナー」の開催
 - ・開催時期：12月開催
- ② 県のイノベーション共創プラットフォーム、県工業会、県北地区の各自治体、県産業振興機構、県中小企業団体中央会等の関係機関とのネットワークをさらに強化するとともに、県北企業との共同研究を推進する。
 - ・実施時期：4月～3月
- ③ センター利用者掘り起こしのための企業訪問
 - ・実施時期：4月～3月
- ④ 県工業会県北地区部会等との共催による展示会開催
 - ・開催時期：2月
- ⑤ 産業人財育成活動の支援、及び企業・学校・県民向けの広報・PR活動
 - ・実施時期：4月～3月

3 管理業務の実施に関する経費の支出予算

事業関連

収入の部		(単位:千円)	
科 目	予 算 額	前年度当初予算額	比較増減額
機械技術センター管理運営 受託事業収入	48,492	49,445	-953
機械技術センター連携促進 事業収入	5,333	5,758	-425
収入合計	53,825	55,203	-1,378

支出の部		(単位:千円)	
科 目	予 算 額	前年度当初予算額	比較増減額
機械技術センター管理運営 受託事業費	48,492	49,445	-953
給料	13,757	13,686	71
職員手当	5,865	5,817	48
共済費	3,706	3,562	144
報償費	450	450	0
旅費	961	1,195	-234
需用費	8,260	9,149	-889
役務費	805	805	0
委託料	10,569	10,960	-391
使用料及び賃借料	1,341	1,043	298
備品購入費	720	720	0
公課費	2,058	2,058	0
機械技術センター連携促進 事業費	5,333	5,758	-425
給料	3,334	3,334	0
職員手当	763	847	-84
共済費	606	606	0
報償費	45	0	45
旅費	89	245	-156
需用費	60	60	0
役務費	36	60	-24
使用料及び賃借料	10	180	-170
公課費	390	426	-36
支出合計	53,825	55,203	-1,378